

伝統の夜神楽を守るために

少子高齢化が進む糸魚川市木浦（このうら）地区。
「ふるさと夜神楽と長者温泉の集い実行委員会」では、地元で親しまれている温泉「長者温泉ゆとり館」を会場に、古くから地域に伝承継承されてきた夜神楽をイベントとして開催する事により、地域活性化近隣市町村との交流を深め、長者温泉ゆとり館の集客発展による地域活性化を目指し活動しています。



子どもから大人まで一体となって

昔は地区の神楽は12の演目がありましたが、近年、保存継承が過疎化により困難となっており、現在は10の演目が継承されています。

この夜神楽をとおして地区の健全な子どもの育成を図るとともに、演目の減少を止め、後世に継承していくために、子どもたちも一緒に、地区が一体となって取り組んでいます。

輪の広がりを目指す姿

平成27年の設立以降、毎年7月下旬、地元の舞子楽人、舞を習得した小中学生、近隣の舞楽団体の皆様との舞楽を交えた交流会を行うなど、活動してきました。

現在は、他地域の団体からの地元野菜の販売や出店いただいたり、近況方々からも鑑賞にお越し頂いたり、少しずつではありますが確実に、輪が広がってきていると感じています。

神楽はその地域に根付いた大切な文化、遺産であり、それが存在しなくなると言うことは、地域そのものが消滅すると言う事につながると考えます。いかに少子高齢化の時代とはいえ、存続しようと言う努力労力が、人々の結束を生み、その結果、地域が豊かになるのではないのでしょうか。

ふるさと納税を通して、伝統の夜神楽をぜひご支援ください。

